

年度別 岩手県立博物館入館者数

(単位:人)

区分	個人利用				団体利用				免除利用				総利用人員			
	一般	高大学生	小中学生	計	一般	高大学生	小中学生	計	一般	高大学生	小中学生	計	一般	高大学生	小中学生	計
S55	69,259	4,275	16,667	90,191	24,506	465	2,036	27,007	1,704	1,823	4,267	7,794	95,469	6,563	22,960	124,992
S56	87,659	5,233	21,762	114,654	54,724	637	4,458	59,819	3,373	5,038	24,401	32,812	145,756	10,908	50,621	207,285
S57	66,727	3,275	16,722	86,724	35,538	648	3,498	39,684	4,135	4,750	23,990	32,875	106,408	8,673	44,210	159,283
S58	51,058	2,348	11,723	65,129	33,072	775	2,743	36,590	3,401	5,780	19,939	29,120	87,531	8,903	34,405	130,839
S59	48,286	2,195	11,338	61,819	28,982	635	2,378	31,995	3,979	5,621	22,641	32,241	81,247	8,451	36,357	126,055
S60	46,054	2,137	10,007	58,198	29,308	411	2,104	31,823	3,339	8,277	24,592	36,208	78,701	10,825	36,703	126,229
S61	39,516	1,911	8,830	50,257	25,888	445	2,010	28,343	3,822	7,409	26,711	37,942	69,226	9,765	37,551	116,542
S62	39,761	1,803	8,647	50,211	22,645	339	1,860	24,844	3,164	7,358	30,224	40,746	65,570	9,500	40,731	115,801
S63	37,362	1,910	8,018	47,290	18,817	551	2,155	21,523	2,729	7,065	26,749	36,543	58,908	9,526	36,922	105,356
H 1	34,617	1,866	7,386	43,869	18,465	208	1,224	19,897	3,297	9,065	29,350	41,712	56,379	11,139	37,960	105,478
H 2	38,272	2,034	8,334	48,640	21,014	827	1,046	22,887	5,735	8,188	25,052	38,975	65,021	11,049	34,432	110,502
H 3	35,073	1,851	6,993	43,917	18,810	1,026	2,031	21,867	6,997	9,040	21,902	37,939	60,880	11,917	30,926	103,723
H 4	33,581	1,743	6,735	42,059	15,239	1,423	1,190	17,852	6,489	7,627	20,429	34,545	55,309	10,793	28,354	94,456
H 5	36,726	2,018	8,406	47,150	10,300	844	1,197	12,341	51,816	7,133	22,431	81,380	98,842	9,995	32,034	140,871
H 6	26,121	1,415	5,588	33,124	9,112	755	673	10,540	6,931	4,076	13,199	24,206	42,164	6,246	19,460	67,870
H 7	30,654	1,768	5,980	38,402	9,193	947	610	10,750	12,449	2,831	12,448	27,728	52,296	5,546	19,038	76,880
H 8	25,328	1,464	4,674	31,466	7,597	559	593	8,749	11,794	2,832	11,506	26,132	44,719	4,855	16,773	66,347
H 9	21,204	1,463	4,277	26,944	4,955	314	483	5,752	8,523	2,346	9,675	20,544	34,682	4,123	14,435	53,240
H10	20,459	1,211	4,189	25,859	6,477	749	276	7,502	17,030	3,020	8,204	28,254	43,966	4,980	12,669	61,615
H11	15,532	928	4,055	20,515	4,808	207	292	5,307	6,422	3,441	5,650	15,513	26,762	4,576	9,997	41,335
H12	14,262	1,149	4,564	19,975	4,174	299	184	4,657	5,879	2,176	7,427	15,482	24,315	3,624	12,175	40,114
H13	12,301	833	3,548	16,682	6,491	42	213	6,746	5,644	1,905	7,948	15,497	24,436	2,780	11,709	38,925
H14	18,160	1,012	6,704	25,876	4,147	208	362	4,717	6,552	999	5,215	12,766	28,859	2,219	12,281	43,359
H15	13,957	676	5,335	19,968	2,660	60	348	3,068	7,125	1,116	6,058	14,299	23,742	1,852	11,741	37,335
H16	13,897	661	4,033	18,591	3,850	138	363	4,351	9,402	538	5,703	15,643	27,149	1,337	10,099	38,585
H17	26,603	1,164	6,935	34,702	3,417	128	218	3,763	9,775	798	4,928	15,501	39,795	2,090	12,081	53,966
H18	14,019	666	7,102	21,787	1,479	298	335	2,112	8,449	680	5,212	14,341	23,947	1,644	12,649	38,240
H19	14,436	622	7,226	22,284	1,739	119	381	2,239	8,298	774	5,614	14,686	24,473	1,515	13,221	39,209
H20	14,361	512	6,975	21,848	1,822	71	320	2,213	9,158	254	7,610	17,022	25,341	837	14,905	41,083
H21	12,914	547	7,055	20,516	1,516	82	374	1,972	10,580	650	7,622	18,852	25,010	1,279	15,051	41,340
H22	14,016	634	6,448	21,098	1,536	443	286	2,265	7,958	216	4,542	12,716	23,510	1,293	11,276	36,079
H23	8,833	374	6,135	15,342	830	110	806	1,746	6,358	534	6,663	13,555	16,021	1,018	13,604	30,643
H24	12,603	458	7,437	20,498	1,084	251	521	1,856	7,382	318	7,351	15,051	21,069	1,027	15,309	37,405
H25	14,799	532	9,106	24,437	1,169	230	638	2,037	9,038	198	8,500	17,736	25,006	960	18,244	44,210
H26	10,928	538	6,218	17,684	861	247	104	1,212	7,392	442	6,116	13,950	19,181	1,227	12,438	32,846
H27	15,213	716	8,190	24,119	880	130	228	1,238	7,955	759	6,187	14,901	24,048	1,605	14,605	40,258
H28	17,703	687	10,974	29,364	967	192	128	1,287	7,950	538	5,829	14,317	26,620	1,417	16,931	44,968
H29	20,101	945	10,266	31,312	1,213	281	333	1,827	9,760	405	7,015	17,180	31,074	1,631	17,614	50,319
H30	18,504	685	11,867	31,056	696	98	244	1,038	8,689	636	6,464	15,789	27,889	1,419	18,575	47,883
R1	17,592	805	10,244	28,641	578	29	157	764	9,573	565	7,696	17,834	27,743	1,399	18,097	47,239
R2	9,091	522	5,844	15,457	116	116	161	393	3,177	376	3,096	6,649	12,384	1,014	9,101	22,499
R3	11,975	679	7,408	20,062	176	42	16	234	4,141	370	3,485	7,996	16,292	1,091	10,909	28,292
R4	14,100	884	8,363	23,347	201	24	131	356	4,567	202	3,145	7,914	18,868	1,110	11,639	31,617
(R5)	22,638	5063	9,553	37,254	608	13	137	758	5,477	736	3,299	9,512	28,723	5,812	12,989	47,524
(R4)	11,908	714	6,991	19,613	123	24	129	276	3,877	144	2,651	6,672	15,908	882	9,771	26,561

※ (R5) 及び (R4) はそれぞれ1月末現在の実績。

開館～R6.1月末までの累計 3,088,637

岩手県立博物館使命書

(平成20年3月25日制定)

私たち岩手県立博物館は、岩手県が誇る豊かな自然史及び文化史に関する資料と情報を収集保管して、調査研究によりその資料価値を見出し、成果を展示や教育普及などの事業で公開する全県的な機関として、教育・学術・文化の振興・発展に大きく貢献してきました。

近年の地球環境保全に対する危機意識の高まり、急速に進む国際化、及び生活様式の多様化といった社会情勢の変化の中で、県民の学習意欲に応える生涯学習中核機関として、より一層充実した役割を果たすことが期待されています。

このため、私たち岩手県立博物館は、5億年にわたる大地、多様な生物相、縄文・平泉などの歴史的変遷、地域性豊かで多彩な民俗事象を背景とし、広大な岩手の地域的特性を活かしながら新たな価値の発見に努め、県民の要請に応じて県民とともに歩む博物館としての機能を強化し、新たな地域文化の創造を目指して博物館の使命を次のようにまとめました。

1 ユニークで多彩な資料の蓄積とその活用に基づく岩手の自然史・文化史の拠点

- (1) 岩手県及び関連する地域の自然や人間の営みの証拠となる資料と情報を継続的に収集・整理して適切に保管・管理し、県民共有の知的財産として次世代に確実に継承していきます。
- (2) 収集した自然史・文化史資料と情報について、自らの研究を通して岩手の地域的特性を明らかにするとともに、グローバルな視点に立って資料の価値を新たに見出します。
- (3) ユニークで多彩な質の高い資料とその情報を各種の事業によって公開・活用し、県民の知的欲求を刺激する場を提供します。

2 幅広い交流による知的活動への寄与と新たな地域文化の創造

- (1) さまざまな機関との資料の相互交流を進めながら、県民はもとより国内外に情報を発信し、自然環境や文化遺産の保全を支援して県民の知的活動に寄与することにより、岩手県の教育・学術・文化の振興・発展に貢献していきます。
- (2) 開かれた博物館として県民との積極的な交流を進めながら、自主的な学習の場を提供することにより、県民の生涯学習活動と次世代の育成のための学校教育活動を積極的に支援します。
- (3) 資料を公開・活用する各種の事業について県民の要請に応え、わかりやすく伝える方法を探り、ともに学び、楽しみを分かちあいながら、新たな地域文化の創造と発展に県民とともに取り組んでいきます。

3 社会から託された博物館の役割を実現するための基盤整備

- (1) 使命書に基づいて活動計画を立案し、実績を点検しながら、さらによりよい博物館活動を目指します。
- (2) 社会から託された博物館の役割を積極的に実現するために、機能的で効果的な組織と財務基盤を整備し、優れた人材の育成に努めます。
- (3) 県民が集い、交流・活動し、やすらぎと潤いのある、安全・安心で、清潔な、また来たいと感じてもらえる快適空間を提供し、県民の共有財産である収蔵資料の保管・管理機能の整備を図ります。

岩手県立博物館の中期計画

— 令和5年度～令和9年度 —

1 目指す姿

(1) 社会から託された博物館の役割を実現するための基盤整備を進め、いわての自然史・文化史の拠点となることを目指します。

【自然史・文化史の拠点の役割】

(2) 岩手の自然や人間の営みの証拠となる資料の収集・保存並びに被災文化財等の修復・保存に努め、県民共有の知的財産として次世代に確実に継承していきます。

【博物館資料の収集及び被災文化財の修復保存と継承】

(3) さまざまな機関との連携を強化し、自然環境や文化遺産の保全を支援して県民の知的活動に寄与することにより、岩手の教育・学術・文化の振興・発展、地域づくりに貢献します。

【県民の知的活動への寄与】

(4) 開かれた博物館として、県民との積極的な交流を進め、自主的な学習の場を提供することにより、県民の生涯学習活動と次世代の育成のための学校教育活動を積極的に支援します。

【博学連携と生涯学習活動への支援の強化】

2 博物館活動の目標

博物館活動を進めていくに当たっての成果指標を次のとおりとする。

(1) 総利用者数 ⇒ 55,000人以上(入館者数・参加者数)

(令和5年度 55,000人、以降毎年度 1,000人ずつ増加)

項目	前期実績						次期計画 目標値
	目標値	H30	R元	R2	R3	R4	
総利用者数 (人)	55,000	67,559	67,118	30,933	36,951	43,368	55,000人～

【内訳】

(ア)入館者数 ⇒ 40,000人以上(令和5年度 40,000人、以降毎年度 500人ずつ増加)

項目	前期実績						次期計画 目標値
	目標値	H30	R元	R2	R3	R4	
入館者数 (人)	40,000	47,883	47,239	22,499	28,292	31,617	40,000人～

(イ)教育普及活動等参加者数⇒(15,000人、以降毎年度 500人ずつ増加)

項目	前期実績						次期計画 目標値
	目標値	H30	R元	R2	R3	R4	
参加者数 (人)	10,000	19,676	19,879	8,434	8,659	11,751	15,000人～

(2) ホームページアクセス件数⇒トップページアクセス件数(80,000 件以上)

項目	前期実績						次期計画目標値
	目標値	H30	R元	R2	R3	R4	
アクセス件数(件) トップページ	500,000	656,808	725,880	—	—	—	80,000 件

(3) 資料のインターネット公開点数 ⇒ 年間 100 点以上追加

項目	前期実績						次期計画目標値
	目標値	H30	R元	R2	R3	R4	
公開点数(点)	—	—	—	—	—	—	100 点

(4) 満足度割合⇒各項目について 95%以上(これまでの実績をベースにした高い水準の目標値)

項目	前期実績						次期計画 目標値
	目標値	H30	R元	R2	R3	R4	
入館者満足度	95%	92.6%	96.3%	95.8%	92.1%	94.4%	95%
職員対応満足度	95%	93.2%	96.8%	98.3%	93.9%	99.1%	95%
特別展示入館者 満足度	95%	94.8%	92.2%	93.5%	92.3%	96.0%	95%
講座参加者満足度	95%	97.8%	96.8%	98.0%	95.9%	98.3%	95%
現地見学会参加者 満足度	95%	96.8%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	95%
子ども向け事業 参加者満足度	95%	99.1%	99.1%	99.3%	99.6%	99.4%	95%

- ※ ① 入館者満足度は、入館者に対する総括的な満足度の調査結果であること。
 ② 満足度の実績は、利用者アンケート調査を実施した事業の調査結果による。

〈目標値設定の考え方〉

(1) 総利用者数 (内訳：入館者数・教育普及活動等の参加者数)

- ① 博物館の総利用者数の増加を目標とする。

総利用者数 = 入館者数 + 教育普及活動等参加者数 (移動展参加者も含む)

- ② 入館者数の初年度 (令和 5 年度) 目標を 40,000 人とし、6 年度以降、毎年 500 人ずつ増加。同様に教育普及活動の初年度目標を 15,000 人とし、毎年 500 人ずつ増加する目標を設定し、入館者数の確保を図りながら、博学連携を中心とした館外での活動、展示等にもさらに力を入れていく。

(2) ホームページアクセス件数

- ① ホームページについては、広報宣伝ツールの主体であり、リニューアルを行いながら、よりタイムリーで豊富な情報量と見やすさの向上を図ってきている。
 ② また、ツイッター・フェイスブックなどその他の SNS からの情報発信にも努めている。
 ③ ホームページへのアクセスは、カウント対象を見直し、トップページアクセス件数の増を目標とす

ること。

④ 令和5年1月、2月のアクセス状況及びこれまでの実績等を考慮し、年間80,000件以上を目標値として設定する。

(3) インターネットでの資料公開点数(解説付き) 年間100点以上を目標値として設定する。

(4) 入館者・事業参加者の満足度割合

これまでの満足度の実績値をベースに、高い水準を目標値とすること。

3 岩手県立博物館の活動方針 (重点的に取り組む事項)

岩手県立博物館の「使命書」、「目指す姿」の実現に向けた活動を行っていくため、前期中期計画の評価結果を踏まえ、当博物館が有する機能や主な取組分野ごとに、下記のとおり活動方針を定める。

(1) 当博物館の事業の活動方針 (重点的に取り組む事項)

ア 資料の効果的な管理と県民への公表の推進

- ① 本県の自然や人間の営みの証拠とするために欠くことのできない資料を収集する。
- ② 年々増加する資料を効率的に整理するため、資料収集から登録作業までの効率的な事務処理システムを構築する。
- ③ 計画的に資料のデジタル化を推し進め、インターネットでの公開を積極的に進める。
- ④ 良好な資料保存環境の維持向上を目指す。
- ⑤ 災害時における的確な資料保管方法を確立する。

イ 充実した調査研究活動の推進と調査結果の県民への還元

- ① 本県の自然史・文化史の拠点として、調査研究の質の向上を目指す。
- ② 高い専門性を有する研究協力員等の更なる拡大及び活用を図り、調査研究活動の充実を図る。
- ③ 博物館全体の財源が縮減傾向にあることから、調査研究に当たっては、外部助成事業の導入や企業との連携による賛助金の確保など外部資金の効果的な導入に努める。
- ④ 県内の大学、研究機関、各分野の研究者との調査研究の連携を図るための体制づくりについて検討する。
- ⑤ 館活動の根幹である調査研究の成果を幅広く公表する。

ウ 魅力的な特別展示の開催

- ① 調査研究の反映や収蔵資料の活用によって、魅力ある企画展やテーマ展等を開催し、入館者の拡充を図る。
- ② 入館者の関心を反映した企画展示に努める。特に、令和5年度は全国的に注目される企画展を実施するなど、入館促進を意識した展示の工夫を行う。
- ③ 魅力のある展示内容とともに、県民を惹き付けるようなネーミングを行う。
- ④ 特別展示の開催が入館者数の誘客に繋がっていることから、特別展示は、現状の開催回数を維持して開催する。
- ⑤ 限られた予算の中で、魅力的な企画を行うため、外部助成事業の導入や企業の協賛を図るなど、新たな財源確保に努める。

エ 利用者に親しまれる常設展示の充実

- ① 入館者の利用増加のためにはリピーターの確保が不可欠であり、そのためにも、季節や年中行事に合わせた展示替えを春夏秋冬(年4回)に行うなど、利用者の視点での魅力的

な展示に努める。

- ② ホームページやSNSでの展示内容の詳細周知とともに展示替えの情報を幅広く公表し、利用者の関心を高め、リピーターの誘客を図る。
- ③ 資料に実際に触れることができる参加型の展示や体験型展示の工夫を行う。
- ④ 地域の年中行事に合わせた展示替えを行うなど、地域住民に親しまれる常設展示の工夫を検討する。
- ⑤ 東日本大震災を受けて防災教育に関わる展示を常設化する。
- ⑥ 常に入館者の立場に立って誰にでも分かりやすく、親しみやすい内容となるような説明解説等、一層の工夫を行う。

オ 教育普及活動の充実

- ① 県民の知識・教養を高め、県民が豊かな社会生活を営むための機会や情報を提供する。
- ② 生涯学習の普及啓発のために、引き続き、利用者の満足度及びニーズを把握し、多彩で的確な事業の充実化に努め、参加者の拡充を図る。
- ③ 指定管理者との連携による「博物館まつり」をはじめ、三世代で楽しめるイベントを実施することにより来館を促し、学びの場としての利用提供を進める。
- ④ 生涯教育に関係する館内及び館外活動の充実を図る。

カ 学校教育との連携（学習支援）の強化

- ① 学習指導要領の教科書に対応した常設展示目録対照表を作成するなど、博学連携に努め、学校教育に一層活用される博物館を目指す。
- ② 児童生徒の学習利用の受け入れに当たっては、展示解説、講義、体験学習など、学校側のニーズに応えられるよう、学芸職員、解説員が連携し、柔軟に対応するなど、受け入れ態勢の強化に努める。
- ③ 「教員のための博物館の日」の設定等、広く学校職員に博物館に親しみ、楽しむ機会を提供することにより、博物館利用の理解を促し、博物館と学校との連携強化に繋げる。
- ④ 博物館と学校を結ぶ教育普及活動の広報宣伝を定期的に行い、博物館と学校との連携を一層強化する。
- ⑤ 学校教育に関係する館内及び館外活動の充実を図る。

キ 被災文化財等救援活動の実施と被災機関への復興支援

- ① 外部の専門機関と連携して、被災資料の安定化処理及び本格修理を行い、被災資料の再生を図る。
- ② 被災文化財再生（安定化処理及び本格修理の過程）の状況を公開し、活動に対する理解を深める。
- ③ 再生の過程で明らかとなった被災資料の学術情報を整理し、データベース化を進め、被災機関に提供するなど、被災した機関の復興を支援する。
- ④ 東日本大震災津波の経験を東北六県が真に共有し、ブロックレベルでの博物館・文化財等防災力の底上げを図る（東北発 博物館・文化財等防災力向上プロジェクトの推進）。
 - ア) 指定文化財や博物館等文化施設の位置とハザードマップをリンクさせ、災害リスクを可視化する文化遺産マップを作製する。
 - イ) 再生を果たした岩手・宮城・福島の3つの文化施設の見学を疑似的に体験できる映像コンテンツを制作・公開し、情報発信するとともに被災地への人流を促す。

ク 施設の利活用の促進

- ① 県民への利用開放を一層促進し、「身近で活力のある博物館」となるように目指す。
- ② 講堂や芝生広場、民家等の活用については、地域住民や各種団体（高校文化部・大学サークル・老人クラブ等）等に利用開放するなどし、積極的な利用促進を行う。

ケ 博物館関係団体及び地域との連携強化

- ① 岩手県博物館等連絡協議会との連携の強化
「東北発 博物館・文化財等防災力向上プロジェクト事業等」により、岩手県博物館等連絡協議会の加盟館・園の連携強化及び活動の活性化を図る。
- ② ミュージアムショップの経営改善等
ミュージアムショップの収支改善に向け、運営体制等について見直しの検討を行う。
- ③ 指定管理者との連携による家族や子ども向けイベントの推進
 - ア) 博物館まつりの開催
 - イ) 幅広い世代に楽しんでもらえるイベントの実施
- ④ 博物館友の会との連携の強化
博物館と博物館友の会との連携を一層推し進め、友の会及び博物館の双方の事業が充実されることを目的に、博物館の教育普及事業等への友の会会員の参画を図る。
- ⑤ 地域住民との連携の強化
教育普及事業等への地域住民の参画を図り、博物館と地域との連携を深める。
- ⑥ 「三陸ジオパーク推進協議会」と連携・協力し、地質・地形をはじめとする大地の恵みを保全しつつ活用するというジオパークの趣旨に沿って、三陸地域の社会的・経済的・文化的な地域の持続可能な発展を支援する。

コ 広報宣伝活動の強化

- ① 広報宣伝については、全職員が常に広報宣伝担当者としての意識を持ち、あらゆる機会を活用して広報宣伝活動を行う。
- ② ホームページの充実や SNS の活用を図り、タイムリーできめ細かな情報発信を行う。
- ③ ポケット学芸員等のコンテンツの充実のほかホームページ上で、館内のバーチャルツアーができる仕組の導入や講座等の動画の配信などを行う。
- ④ 入館者が快適にスマートフォン等を使用できるよう、無料公衆無線 LAN (Wi-Fi) の機器の更新等整備を進める。
- ⑤ 効果的で有益な宣伝広報として、県が行う広報を利用した宣伝活動を積極的に行う。
- ⑥ パブリシティ効果を念頭に、マスコミに対しては事業の魅力が伝わる情報提供の仕方を工夫する。
- ⑦ 企画展、テーマ展については、報道関係機関以外にも、地域振興、観光関係機関と連携した宣伝活動を強化し、地域づくり、観光面からの誘客を図る。

サ 事業の円滑な推進

- ① 岩手県立博物館の使命書、経営計画書を全職員で共有し、活動目標を意識しながら博物館事業を円滑に推進する。
- ② 事業執行に当たっては、常に、予算執行及び事務処理の効率化に努める。
- ③ 来館者へのサービスの向上に努めるとともに、来館者の意見・要望に対しては情報共有とホームページによる対応状況の公表を行う。
- ④ 来館者の安全に留意するとともに、館内の危機管理体制の充実を図る。

シ 社会的責任と地域社会への貢献

- ① 学芸員を目指す学生の博物館実習施設として、継続して希望者を受入れ、博物館独自のプログラムを用意し、職員総出による指導を行う。
- ② 県内の博物館等職員及び市町村教育委員会文化財担当者等を対象とした「文化財等取扱講習会」を開催し、資料収集保管の基本的な取扱い、資料を活用した展示及び教育普及活動等の指導など文化財に関する人材育成に継続して取り組む。

ス 施設の維持管理と計画的な整備

- ① 国や地方の財政状況は厳しさが増しており、多額を要する大規模な補修は困難な状況であるが、入館者の安全管理を第一に、SDG s（環境への配慮）やインクルーシブ施設を意識しながら、施設の維持管理に努める。
- ② 貴重な文化財等を保管する収蔵施設の劣化箇所の早急な整備に努める。
- ③ 経年劣化した施設設備の改修は、優先順位に配慮しつつ、計画的な整備に努める。
- ④ 消防法等関係法令の改正等に対応した施設設備の整備に努める。
- ⑤ 来館者のニーズを踏まえ、サービス向上のための施設・設備整備について検討するとともに、文化庁の重要文化財等公開承認施設を維持するための環境整備に努める。

セ 大規模災害発生時の危機管理体制の強化

- ① リスクマネジメントの確立（事前準備）
 - ア) リスクの把握と評価
 - イ) リスクへの対応（訓練、予防措置、備蓄、保険、地域や他館との連携、各種情報発信、対応マニュアルの整備等）
- ② 危機管理体制の強化（災害発生時の対応）
 - ア) 安全の確保対策
 - イ) 初動体制
 - ウ) 被災状況の確認、関係者への通報
 - エ) 復旧対策

ソ 業務の執行体制の強化

- ① コンプライアンスの遵守を意識しながら職員の満足度が高まる職場環境の醸成に努める。
- ② 市町村支援や社会貢献を果たすための組織体制について検討する。
- ③ 各課及び担当分野ごとの会議・打ち合わせを定期的に行い、情報の共有を図る。
- ④ 人材の育成に努める。

(2) 事業活動方針に基づいた取り組みの実施計画

(P D C Aサイクルによるマネジメントの徹底)

- ① 各年度の具体的な取り組みについては、それぞれの年度（予算を伴うものは前年度）において検討し決定する。
- ② それぞれの事業については、各事業年度において、自己評価及び職員全員による全体評価結果を踏まえ、必要に応じて見直しを行う。
 - ア) 事業の効果
 - イ) 費用対効果
 - ウ) 事業の進め方
 - エ) その他

4 岩手県立博物館友の会の活動状況（2024年1月31日現在）

- 1 会員数 346人 件数 190件
- 2 予算額（2023年度一般会計） 880,184円
- 3 活動状況
 - (1) 現地見学会 未定
 - (2) 野外観察会（年4回）
 - ① 第85回自然観察会
「湿地の生き物を観察」 (5/7) 16名参加
講師 岩手県立博物館学芸員
 - ② 第86回自然観察会
「森の中の昆虫、生き物を採集、観察」 (7/17) 23名参加
講師 岩手県立博物館研究協力員 千葉武勝氏
岩手県立博物館学芸員
 - ③ 第85回地質観察会
「大船渡市の石炭紀の生物を見る」 (7/2) 36名参加
講師 岩手県立博物館学芸員
 - ④ 第86回地質観察会
「一戸町根反川流域の珪化木をみる」 (10/29) 19名参加
講師 盛岡第二高等学校 杉山了三氏
 - (3) 話のサロン（年3回）
 - ① 「宮沢賢治と東山」 (5/20) 20名
講師 元石と賢治のミュージアム館長 藤野正孝氏
 - ② 未定（博物館事業に参加）
 - ③ ~~「新渡戸稲造」(仮)~~ 中止 ~~-(2/17)~~
講師 ~~新渡戸基金理事長・新渡戸稲造会会長~~ 藤井茂氏
 - (4) 会報等発行・発送
 - ① 「友の会会報」発行 4月、9月、2月 (No.127～129)
 - ② 「友の会通信」発行 随時 (No.129～)
 - ③ 「博物館だより」発送 6月、9月、12月、3月 (No.177～180)
 - (5) ボランティア活動
博物館まつり 10/8 館内体験教室参加 (15名参加)